

<高付加価値型農業に取り組む事例>

〇集落で取り組む農地保全管理

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	群馬県 とみおかし 富岡市 わらび 蕨 まつやま 松山			
協 定 面 積 4.8ha	田（１００％）	畑	草地	採草放牧地
	米			
交 付 金 額 30万円	個人配分			
	共同取組活動 （100％）	農道の維持管理費		65％
		用水路の維持管理・補修等		35％
協定参加者	農業者 18人、松山集落組合（構成員22人）			開始：平成15年度

2. 取組に至る経緯

本地区は、小区画で不整形な農地がほとんどを占めており、機械化による大規模化が難しい現状である。また、高齢化に伴う後継者不足の問題から、耕作放棄地の発生が懸念される状況であった。

このため、耕作放棄の防止や農村景観の維持等を考え、集落の活性化を目標に平成15年から認定農業者（1名）を中心に取り組んでいくこととした。

3. 取組の内容

当集落では、農業者と非農業者が共同で農道・水路・ため池周辺の草刈りや整備を実施している。

また、高付加価値型農業の実践として、高付加価値米（天日干米）を生産し販売している。

主力の農業者が全員60歳を超え、80歳を超えた現役農業者もいることから、地域で農地を守り、耕作放棄地が発生しないように努めている。



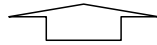
【谷津田の風景】



【はぜかけで天日乾燥】

[集落の将来像]

より一層の高齢化が進む中、地域全体で農地を守る意識を継続させ、現在耕作している面積を減らさないようにする。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・昔ながらの谷津田の農村風景を守り、里山集落で地域の農地を守っていく。

[活 動 内 容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理
(田 4. 8 ha)
天日干し米

個別対応

水路・農道の管理
・水路の清掃、草刈り
・農道の草刈り (年 3 回)

共同取組活動

農地法面の点検
(随時)

共同取組活動

多面的機能増進活動

魚類・昆虫類の保護
(ビオトープ (ため池利用)
の確保…減農薬でため池生
物の生息環境の維持)

共同取組活動

4. 今後の課題等

今後、高齢化がますます進み、後継者もいないうえ、鳥獣被害も毎年大きくなっていくことが予想されるため、地域が一丸となり、Uターン後継者を発掘し、今まで以上に非農家と連携して谷津田を維持していくことにしているが、いかんせん後継者不足が最大の課題となっている。

[第2期対策の主な効果]

- 非農家・他集落との連携
 - ・地域の子育連または小学校との農業体験教室（キウイフルーツの収穫体験）の開催
(H20 : 30名 H21 : 25名)